教職員の勤務状況の実態と
今後の働き方改革に向けて

学務課

埼玉県小･中学校働き方改革に関する実態調査に係る調査報告書

○調査期間
令和3年6月14日(月)～7月11日(日)
○調査内容
･調査A　業務内容調査
　　対象:教職員　期間:7日間
　　1日の業務内容の把握(業務の持ち帰りも含む)
･調査B　在校等時間調査
　　対象:教職員　期間4週間
　　調査対象者の出勤から退勤までの在校等時間の把握
･調査C　学校質問紙調査
　　対象:校長
　　調査対象校の働き方改革に係る取り組み状況の把握

○調査A　業務内容調査　年代別に見た勤務日の業務内容について

小学校

	20代	30代	40代	50代	60代
在校時間	11:21	10:43	10:31	10:49	9:48
授業	5:02	5:03	4:49	5:05	4:12
部活動・各種大会練習	0:00	0:01	0:00	0:00	0:01
補習	0:03	0:02	0:02	0:03	0:01
生徒指導（集団）・集会	0:45	0:43	0:40	0:45	0:33
個別の面談等	0:02	0:01	0:04	0:02	0:03
生徒会指導	0:02	0:04	0:06	0:05	0:05
登下校指導等	0:23	0:16	0:15	0:17	0:12
行事（準備等を含む）	0:08	0:09	0:05	0:07	0:06
授業準備	1:56	1:28	1:19	1:27	1:19
成績処理	0:35	0:33	0:29	0:44	0:25
学年・学級経営	0:54	0:46	0:47	0:36	0:26
会議・打合せ	0:21	0:20	0:23	0:22	0:16
会計処理	0:03	0:02	0:01	0:02	0:01
校内研修	0:14	0:11	0:11	0:11	0:20
その他事務	0:24	0:31	0:47	0:31	0:50
保護者・PTA対応	0:03	0:04	0:04	0:02	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
出張：研修（校外）	0:05	0:05	0:03	0:02	0:14
出張：部活動関係	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
出張：会議・他	0:01	0:02	0:05	0:02	0:06
出張に伴う移動	0:01	0:01	0:02	0:01	0:00
コロナ対応業務（消毒等）	0:01	0:04	0:03	0:05	0:04
その他	0:05	0:05	0:09	0:06	0:10
休憩・補食等	0:06	0:06	0:06	0:07	0:11

○小学校は、年代が若いほど、登下校指導等の時間が長くなっている。

○小学校は、20代は50・60代と比較すると、学年・学級経営にかける時間が長い。

○小学校、中学校ともに20代は他の年代と比較して在校時間が長い。特に、20代の授業準備の時間が長く、30代と比較すると1日あたり小学校では28分長い。

（中学校については、次頁）

○調査A　業務内容調査　年代別に見た勤務日の業務内容について

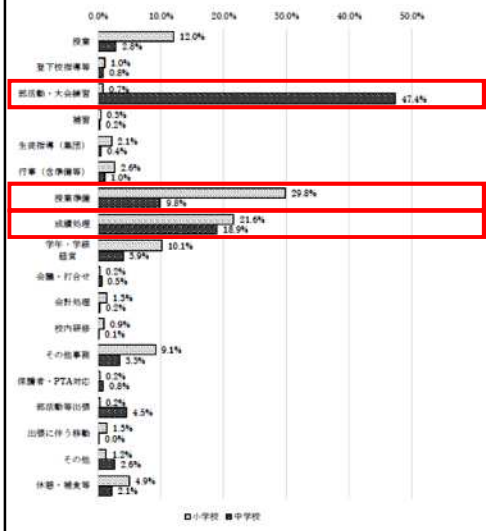
中学校

	20代	30代	40代	50代	60代
在校時間	11:49	11:18	10:48	10:39	10:21
授業	3:43	3:39	3:34	3:36	3:33
部活動・各種大会練習	1:04	0:56	0:44	0:40	0:40
補習	0:03	0:03	0:02	0:02	0:01
生徒指導（集団）・集会	0:39	0:43	0:40	0:45	0:39
個別の面談等	0:06	0:06	0:05	0:04	0:03
生徒会指導	0:05	0:04	0:05	0:04	0:04
登下校指導等	0:16	0:14	0:16	0:15	0:19
行事（準備等を含む）	0:07	0:10	0:07	0:06	0:02
授業準備	1:56	1:35	1:26	1:36	1:33
成績処理	0:53	0:46	0:48	0:43	0:42
学年・学級経営	1:13	1:20	1:05	1:00	0:48
会議・打合せ	0:25	0:29	0:35	0:32	0:29
会計処理	0:01	0:01	0:01	0:03	0:03
校内研修	0:06	0:03	0:04	0:03	0:02
その他事務	0:22	0:23	0:34	0:31	0:36
保護者・PTA対応	0:05	0:05	0:06	0:03	0:03
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係機関対応	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00
出張：研修（校外）	0:05	0:05	0:02	0:02	0:02
出張：部活動関係	0:13	0:12	0:13	0:04	0:07
出張：会議・他	0:02	0:03	0:04	0:03	0:04
出張に伴う移動	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02
コロナ対応業務（消毒等）	0:04	0:04	0:02	0:02	0:05
その他	0:06	0:05	0:06	0:04	0:08
休憩・補食等	0:06	0:06	0:06	0:09	0:13

○中学校は、年代が若いほど、部活動の時間が長くなっている。

○20代の授業準備の時間は長く、30代以降は横ばい。

○調査A　業務内容調査　週休日等の業務内容について



・中学校においては、部活動が47.8%と他の項目と比較して非常に高くなっている。

・小学校においては、授業準備（29.8%）や成績処理（21.6%）の割合が多くなっており、平日に処理しきれない業務を行っていることがわかる。

・中学校においても部活動ほどではないが、成績処理（18.9%）、授業準備（9.8%）の割合が多くなっている。

表 B5-1　時間外在校等時間　顧問　副顧問　顧問なし　別

	顧問	副顧問	顧問なし
時間外在校等時間平均【平日】	２時間４９分	２時間２７分	１時間５４分
時間外在校等時間平均【週休日】	１時間２９分	１時間　３分	１８分
部活動指導時間【平日】	１時間　９分	５１分	１分
部活動指導時間【週休日】	５５分	３８分	３分
時間外在校等時間【平日計】	５７時間５７分	５０時間１２分	３９時間１１分
時間外在校等時間【週休日計】	１２時間　５分	８時間３９分	２時間３０分
時間外在校等時間【４週計】	７０時間　２分	５８時間５１分	４１時間４１分

・「顧問」と「顧問なし」の数値から、中学校における月45時間を超える主な要因が、部活動指導時間であると考えられる。

○調査B　在校等時間調査の結果

男性

	小学校			中学校		
	平成２８年度	令和３年度	増減	平成２８年度	令和３年度	増減
平均	３時間　５分	２時間３３分	▲３２分	３時間１５分	２時間４２分	▲３３分

女性

	小学校			中学校		
	平成２８年度	令和３年度	増減	平成２８年度	令和３年度	増減
平均	２時間３７分	２時間１８分	▲１９分	２時間４３分	２時間２５分	▲１８分

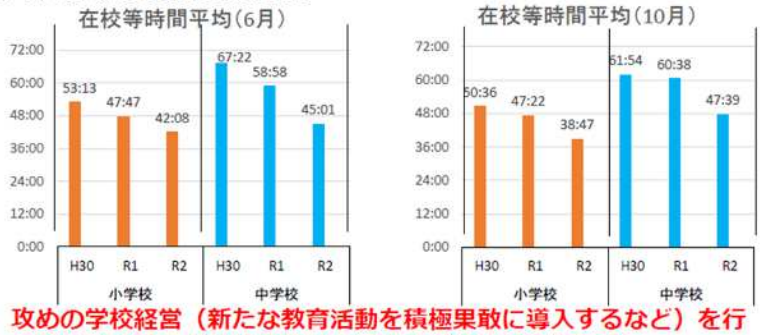
・男女ともに平成２８年度と比較して時間外在校等時間が減少

・男性の時間外在校等時間の縮減幅が大きく、男女の時間外在校等時間の差が縮まった。

本市の現状と取組

具体的な学校における働き方改革事例

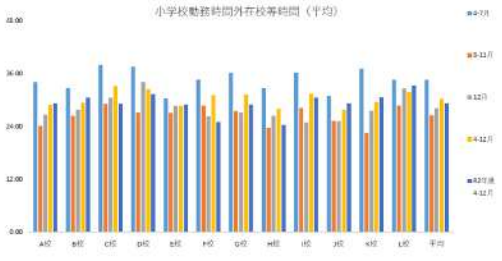
○校務分掌組織の再編（スリム化）
○各種会議（職員会議・校内研修 等）の精選及びペーパーレス化
○研修のオンライン化
○学校と保護者間の文書や出席・遅刻等連絡、各種アンケートのデジタル化
○採点支援システム（EdLog）の導入
○日課表の見直し
○業務改善に係る会議の実施（ボトムアップ）
○年次休暇等の計画的な取得



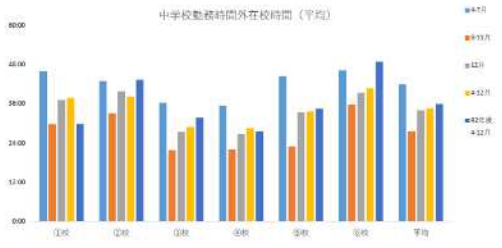
攻めの学校経営（新たな教育活動を積極果敢に導入するなど）を行っている学校ほど在校等時間の減少率が高い傾向にある

令和3年度

学校名	小学校勤務時間外在校等時間（平均）				
	4-7月	8-11月	12月	4-12月	R2年度 4-12月
A校	34:06	24:09	26:41	28:51	29:14
B校	32:44	26:26	27:46	29:23	30:36
C校	37:59	29:08	30:33	33:18	29:12
D校	37:34	27:08	34:09	32:38	31:22
E校	30:21	27:06	28:41	29:43	28:57
F校	34:21	28:46	26:16	31:07	29:02
G校	36:13	27:29	27:10	31:20	28:56
H校	32:44	23:41	26:26	28:01	24:21
I校	36:15	28:13	24:52	31:25	30:36
J校	30:53	28:17	26:12	27:46	29:17
K校	37:09	22:31	27:33	29:35	30:41
L校	34:39	28:46	32:40	31:49	33:19
平均	34:36	26:34	28:10	30:19	29:18



学校名	中学校勤務時間外在校等時間（平均）				
	4-7月	8-11月	12月	4-12月	R2年度 4-12月
①校	45:59	29:45	37:06	37:47	29:48
②校	43:01	38:04	39:47	38:14	43:20
③校	36:18	21:48	27:26	28:52	31:42
④校	39:28	21:58	26:44	28:30	27:26
⑤校	44:27	32:34	33:37	33:36	34:26
⑥校	46:18	35:40	39:21	40:48	48:52
平均	41:55	27:31	32:58	34:38	39:56



4月から7月が在校等時間が長い傾向にある。

10

今後の取組について

・教師が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的転換を図り、限られた時間の中で、児童生徒に接する時間を十分に確保し、教師の日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性を高め、児童生徒に真に必要な総合的な指導を、持続的に行うことができる状況を作り出す。



・4、5、6月の在校等時間が長い傾向にあるため、現状を解消するために、各学校に改善できる内容を調査し、フィードバックする。
・校長会長等から学校での現状をヒアリングし、検討する。
・学校の負担軽減となるよう各課と連携し、会議の見直しや文書等の検討する。
・埼玉県教育委員会の働き方改革担当者に講師依頼を行い、各校の働き方改革を進めている者に対し、最新の動向や取組について、情報提供していただく。



・各学校に具体的な方針を示していく。